



「JTco ニュースレター」 ～活動内容のお知らせ～

vol.38 2022年3月29日発行 発行 NPO 法人 日本伝統文化振興機構
東京都港区愛宕1-3-2

平素は、NPO 法人日本伝統文化振興機構(JTco)の活動にご理解とご支援を賜り、御礼申し上げます。

伝統工芸ニュース SNS で話題の一品！

今回ご紹介するのは、甲州の伝統技術「手擦り研磨」にこだわった工房「依田貴石」さん作成の「キューブカット」。こちら、いったい何が話題になったのかというと…。その見た目が「とても美味しそう！」とうこと。立方体に美しく磨き上げられた色とりどりの鉱石が角砂糖のように見え、「美味しそう！と思ったら！？石！？あれ？石って食べられるんだっけ？」「すごいファンタジー感。」と SNS やネットニュースで大きな話題になりました。

伝統的工芸品が有名デザイナーさん等とのコラボ企画などで話題になることも多い昨今、職人さんの素晴らしい技術とアイデアにより生まれた一品です。

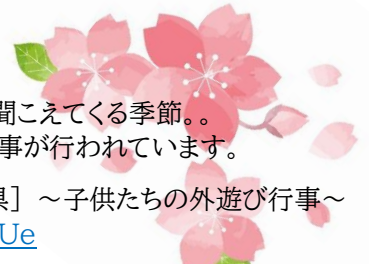
→依田貴石 HP <https://www.yodakiseki.com/>



JTco 歳時記

梅の花も終わり、桜の便りが聞こえてくる季節。4月には全国でこんな伝統行事が行われています。

- 乙父のおひながゆ[群馬県] ～子供たちの外遊び行事～
<https://bit.ly/3MXvqUe>
- おどり花見[千葉県] ～元禄から続く春の踊り～
<https://bit.ly/3CVkuCg>
- 天津司舞[山梨県] ～日本最古の人形芝居～
<https://bit.ly/3tZ33wx>
- 諏訪神社獅子舞[富山県] ～獅子と天狗が祈り舞う～
<https://bit.ly/3tgQVrs>
- 大河内のシカオイ行事[長野県] ～藁で作った鹿を射る～
<https://bit.ly/3MXs9V2>



pick up!

全国の取り組み [新潟県立六日町高校]

新潟県の六日町高校の2年生 富沢さんが、伝統織物「塩沢織」を使った「普段使い出来る商品」の開発として、昨年よりスマートフォンケースの作成に取り組まれているそうです。同高

校の2年生 84 名に行ったアンケート結果を踏まえ、試行錯誤の末今年の2月下旬に試作品が完成しました！今後更に改良を加えて4月22日に東京で発表販売を行う予定です。
情報提供：塩沢つむぎ記念館さん



《【新漆精製技術(減圧蒸留法による精製)】開発レポート ～JTco 支援事業～》

私達が開発した漆の新精製法は、従来の「加熱攪拌法」から「減圧蒸留法」に方式を改めた精製法です。

前回のレポートでは「加熱攪拌方式精製法」と「減圧蒸留方式精製法」の違いについて書きました。加熱攪拌法では、熟練した職人さんが45℃の熱源で4時間から8時間の攪拌をして精製をする事に対して、減圧蒸留法では、技術習得した技術者が減圧蒸留装置を操作し30℃前後の温度で蒸留精製をするものです。

「減圧蒸留法」(特許番号 1017746)で製造した黒目漆は、次のような特徴と品質を持ちます。

- ◎黒目漆精製に要する時間は1時間から2時間程度です。
- ◎黒目漆の品質に大きな影響を与える生漆、黒目漆中の水分量をカールフィッシャー法で測定するため、精緻な水分量が測定・コントロールができます。また、漆成分を科学的に分析(HPLC 装置)することで、精製漆の成分表示を可能にし、高い再現性で同品質成分の漆の精製ができます。それによって、「品質表示」を可能にしますので、商品の「品質の信頼性と安定性」が高まります。
- ◎低温(30℃から 35℃)で蒸留するため、漆成分のラッカーゼが変質しません。また、高い漆オール濃度と高い蛋白質質量を持つ黒目漆を作ることができます。
- ◎精製過程での損耗が少なく、製品歩留まりが非常に高いです。

この減圧蒸留法による漆精製工法は、漆を使われている、漆産業、伝統工芸産業、塗料業界に大きな革新をもたらすものです。

※この漆精製についてのお問い合わせ先：いわて漆テック株式会社 (下記 JTco にお問い合わせください。)

情報発信・工芸品の販売・JTco 会員入会・その他記載内容についてのお問い合わせ先(事務局・広島)

MAIL:info@jtco.or.jp TEL:082-230-0243 FAX:082-230-0263(発行責任者:及川 秀悟)